

おたより

議会だより

1月

2017 vol.145

補正予算.....	3
予算特別委員会.....	4～7
一般質問.....	8～10
各常任委員会.....	11～13

議会ホームページ検索

南陽市議会

検索

新年のごあいさつ



南陽市議会議長

田中 貞一



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健康やかな初春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年3月の市議会議員選挙では2人の新人議員を含む17人が当選し、新たな体制の下に市議会がスタートしました。市民の皆様には深いご理解とご協力を賜り、各議員が議会活動に精励し、地域振興や市政発展に尽力できましたことに心から感謝申し上げます。

像をしつかりと見据え、

教育や福祉、防災対策等の諸施策を着実に推進し、心豊かに安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて取り組んで参ります。

また、市民の皆様にとつて身近な「開かれた議会」を目指し、本会議のインターネット中継や市議会のホームページ及び議会だよりの充実を図り、積極的に情報発信に努める所存です。

結びになりますが、南陽市と市民皆様様にとりまして輝かしい年になりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

ふるさと納税1億円補正し、年4億円見込む 補正後の予算総額152億1千万円に

12月 定例会

12月定例会は、12月6日～21日まで開会した。

同意1件は、南陽市赤湯財産区管理委員（曾根原力氏、歌丸裕介氏）の選任について。

条例・その他16件は、山形鉄道の上下分離による「鉄道事業再構築事業」で、無償貸し付けを条件とする鉄道用地の寄付などの条例等7件。地方公営企業法の全部適用に関し、置賜広域病院組合規約の一部変更など2件。健康長寿センター・デイサービスセンターなどの指定管理者の指定についての7件。（詳細は、11～13頁参照）

補正予算4件の計21件を全て承認、可決した。今回の補正予算では、ふるさと納税が当初見込額に比べ、1億円増の4億円となる見通しから、その関連の補正を始め、次ページに掲げる主な内容などが盛り込まれ、予算総額は152億1千万円となった。

最終日追加議案として上程された条例改正2件と、それに伴う補正予算5件については全員異議なく可決した。

一般質問は6名の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。（8～10頁参照）

請願2件のうち、継続審査としていた「TPP協定を国会で批准しないことを求める」請願は、審査の結果、常任委員会で不採択だったが、本会議で採択され、内閣総理大臣に意見書提出を行うこととした。

また「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願については、採択とし、国に意見書提出を行うこととした。



ふるさと納税事業費

6,274万円

◎返礼品等事業費

ふるさと納税額は当初3億円を見込んでいたが、寄付額増加に伴い4億円を見込み、返礼品や礼状等の郵送、ポータルサイト利用料等にかかる経費に充てるもの。



南陽市インバウンド推進事業費

600万円

◎赤湯駅外国人対応整備工事費

国の東北観光復興対策交付金制度を利用した赤湯駅舎のトイレ改修工事の補正をするもの。外国語案内標記と便器の洋式化、狭いスペースの解消や洗面所などの衛生器具の改修を図るもの。



外国語標記の案内板

その他の主な事業

☆地域振興基金積立金	3,725万円
☆給与条例の改正に伴う人件費の補正	1,384万円
☆優良企業誘致推進事業費	40万円
☆元気な6次産業化応援プロジェクト事業補助金	308万円
☆耕作放棄地等再生支援事業	76万円
☆県中学校総体参加選手派遣費補助金	105万円
☆国民健康保険特別会計繰出金	▲1,739万円
☆介護給付金特別会計繰出金	2,269万円
☆後期高齢者医療費	2,070万円

28年度12月定例会
一般会計補正予算

7億4,659万円

補正後総額

152億1千万円

灯油購入助成事業費

750万円

◎低所得者への助成

県からの50%補助で、低所得者に灯油購入費の助成を行うもの。

産地パワーアップ事業費補助金

4億2,265万円

◎整備事業

国からの100%補助で、拠点集出荷施設を整備し、物流コストの低減を図る整備事業を実施する山形おきたま農業協同組合に支援するもの。



JA南陽支店南側に現在造成中の集出荷施設建設予定地

臨時福祉給付金給付事業費

1億133万円

◎経済対策分として

消費税の引き上げに際し、住民に与える影響を考慮し適切な配慮を行うために、市民税が課税されていない方を対象として1人15,000円を臨時的に給付するもの。(申請受付は3月上旬からを予定)

補正予算

19日

Q & A

佐藤 明議員

院・外来患者数の推移は。

〈すこやか子育て課長〉総合病院全体で入院患者は20万5309人で昨年比2245人の減。外来数は33万7339人で昨年比576人の増だった。

来年度の地方交付税は
◎地方交付税が4%減額と聞いたが、来年度予算にはどう反映されているのか。

〈財政課長〉現在、総務省と財務省が12月22日まで折衝中のため、まだ決まっていない。

◎減額されれば大変な事。減らされないように要望すべき。

〈市長〉社会福祉などに支障がないように、市長会を通じて要望を行っている。

◎置賜総合病院の入

は、地域の中核病院として整備された経緯が

あり、県から45%の補助を受けているため、今後も負担を求めない予定。

3カ年計画の実現を
◎高速道路開通による影響が懸念されるが、観光と振興の対応は。

〈市長〉観光面では、大型看板の設置を検討中。振興面では、観光資源を磨き上げて発信する。

◎様々な背景により商店数が激減している。高齢化による後継者問題や、従業員・売上減少が深刻な状況にある。また、観光客も減少傾向にある。根本的な対策が必要では。

〈市長〉枠組外の自治体とは相互に患者が往来しているため、今まで負担を求めたことは無い。

◎3割以上が枠組外の自治体から来ている。応分の負担を求めらるべき。

〈副市長〉置賜総合病院は、

自主返納者への支援は考えているか。

〈市長〉自主返納は、地方では公共交通網が未発達のため難しい問題だ。地域にあった交通のあり方を地域の協議会をつくり検討する。

◎県内の各自治体では様々な支援が行われている。デマンドタクシー等も含めて検討してみてもどうか。

〈市長〉住民の方が不便にならないように、地

域にあった方法を検討していく。

◎地域の足を確保するため、デマンドを導入している自治体が多い。ぜひ支援してほしい。

〈市長〉周辺自治体の動向を確認しながら検討を進める。

関連

板垣致江子 議員

◎運転免許証を自主返納したあと、足が無く困っている人も多いことを考えるとタクシー券の補助など、29年度から取り組んでいただけるよう市長に頑張っていたほしい。

島津善衛門 議員

◎高齢者の運転機能低下の要因に「認知機能低下」がある。自覚するためにも、気軽に、簡単に、自主的にチェックできる場所の設置が

市役所に必要では。

〈市民課長〉警察署と相談して検討する。

山口 裕昭 議員

老人いこいの家の安全対策は

◎老人いこいの家は老朽化が進んでいるが、確認されているか。

〈福祉課長〉確認し、把握している。

◎11月の福島地震により損傷が進んでいる。今後どのように改修を進めていく予定か。

〈市長〉老朽化は本市施設全般の問題だ。公共施設等総合管理計画で長期的視点から対応していく。



老人いこいの家

◎老人いこいの家は、月間約425人、年間4500人以上が利用されており、一定のニーズがある。施設存続の可否を含めた展望は。

〈市長〉老人いこいの家の機能は必要と考えている。機能を保持できるように検討する。

◎利用者が怪我をするようなことがないように、危険箇所だけでも喫緊で対処してほしい。

〈市長〉現状把握して、危険な部分は対応する。

外国人観光客へのおもてなしは
 ◎インバウンド対策として市役所・観光協会内に英語・中国語・韓国語を話せる方はいるのか。
 〈商工観光課長〉対応できる人材はいないと認識している。
 ◎外国人観光客にとって言葉の壁は高い。外国語を話せる方を嘱託として採用は。また、職員にTOEIC受験を推奨する考えは。
 〈総務課長〉語学に特化した職員研修は行ってない。自己研鑽という枠の中で考える。
 ◎今後外国人の方が来る機会も増える。職員のスキルアップのためにTOEIC受験の助成を含めて検討しては。
 〈市長〉助成は難しいが、外国語ができる職員が多くなればよいことは

間違いない。推奨していくことで対応する。
 ◎外国人観光客の顔を見て、怪訝な顔をするようでは「おもてなし」はできない。ぜひ対応をお願いする。

白鳥 雅巳 議員

ふるさと納税の使い道は
 ◎ふるさと納税は毎年増加し今年は4億円を越えた。その利用法は。〈みらい戦略課長〉ふるさと納税者のアンケート調査で、子育て関連への使用希望が多い。それを踏まえて進めていく。
 ◎返礼品の拡大や目玉となるサービス等の企画は考えているか。
 〈商工観光課長〉返礼品はホームページ等でも募集をしているが、今後も本市物産のPRとして進める。サービス企画としては、現在パ

ラグライダーの体験飛行などがある。それ以外にも色々参考にして行っていく。
ボランティアへの補助は
 ◎在宅の身障者・要介護の方を訪問し、ボランティアで理美容を

している方へ、経費実費負担補助等を行う施策が必要では。
 〈市長〉現在では未対応であり、今後、利用者等のニーズの把握を行い、必要な施策を研究する。

関連

山口 正雄 議員

将来的に除雪運転手確保の不安は
 ◎運転手の70歳定年は運用されているのか。
 〈建設課長〉組合規約では満70歳で定年と定めている。現在、運転登録人数126名、一斉除雪の出勤人数73名、平均年齢は47.4歳で、定年で減少しても支障は出ないと考えている。
 ◎個人事業主が定年になれば、台数も1台減る。台数的に大丈夫か。
 〈建設課長〉台数増も含め、柔軟に対応可能だ。



板垣致江子 議員

6次産業の支援体制は
 ◎6次産業化が叫ばれ何年にもなるが、6次産業に取り組み特産品開発を頑張ってきた人たちの状況が変わってきたところもある。その後の支援や相談体制は。
 〈農林課長〉6次産業化のネットワークで支援を検討。
 〈商工観光課長〉事業者向けワンストップ相談窓口を開設している。商工会や、よろず支援拠点などでも相談できる体制になっている。



置賜南陽病院

◎物産販売拠点整備を図るうえでも、6次産業で生まれた南陽の特産品を大事にしてほしい。農林課・商工観光課の連携でしっかりと支援体制をお願いする。

高橋 一郎 議員

来年度以降の還付金は
◎置賜広域病院組合負担金精算還付金8297万円は28年度分も同じく還付されるのか。仮に29年度地方公営企

業法の全部適用になっても変わらないか。

◎副市長基本的にはサテライト南陽病院の繰出金精算なので、金額は別としても還付になる。全部適用後もこの仕組みは同じ。

介護にロボット？

◎介護ロボット導入支援補助金の92万7千円はどのようなものか。

◎福祉課長ロボットではないが補助金の名称室内状況がセンサーでわかるもので遠隔地操作ができる。

公衆浴場も建て替え時期では

◎赤湯温泉公衆浴場の建て替えや「老人いこいの家」の改修も含めて総合的な判断をするときではないか。

◎市長公共施設等総合管理計画を本年度にまとめ、それをもとに検討していきたい。

◎湯河原源泉から烏帽子の湯に引いている源泉の余分なお湯の利活用をすべきでは。

◎財政課長オーバードー分で融雪に活用できるか試験し始めたが、本格的な利用を今後考えていきたい。



烏帽子の湯

「縁結びの湯」に改名を
◎ハイジアパークの黒字化作戦として、ソフト事業でやれるべきこと、たとえば「縁結びの湯」と呼称する。スポーツ割引を設けるなどをすべきでは。

◎市長健康増進施設として、あるものの中で経営努力する。

◎新たに市民として転入した際にハイジアパークの利用券をプレゼントするのとも一案ではないか。

◎市長ユニークなことをお聞きした。参考にさせていただく。

消防団員にインセンティブを

◎消防団消耗品の104万8千円は何か。

◎総合防災課長29年度新団員の活動服等を新年度前に準備したい。

◎消防団応援事業で割引やサービスを提供する協賛店の本市の状況と今後は。

◎総合防災課長県が行う「やまがた消防団応援事業」で市内協賛社は1社。増やすように努力したい。

◎市長出場決定で社長に祝意は伝えた。頑張っていたいただきたい。

◎社会教育課長規定ではスポーツ基金から一人8千円、10人を上限として支援する。



消防出初式

学校施設の整備計画は

◎赤湯中学校体育館床の損傷がひどい。修繕計画は。

◎学校管理課長全面張り替えは難しいが、年度計画の中で部分的に修繕していく。

走る広告塔へもっと支援を

◎ニューイヤー駅伝にNDソフトウェアアスリートクラブが出場して、南陽市を全国に宣伝してくれる。激励や支援はないか。

◎市長出場決定で社長に祝意は伝えた。頑張っていたいただきたい。

◎社会教育課長規定ではスポーツ基金から一人8千円、10人を上限として支援する。



山口 正雄 議員

ハイジアパークの更なる販売促進を

◎子どもポイントカード発行の検討結果は。

◎商工観光課長12月発売の入館回数券感謝セールに合わせ、12月15日からポイントの実施を始めた。

◎感謝セールで子ども回数券だけが今回のみの理由は。

※1 全部適用…自治体病院の経営形態を地方公営企業法の全部適用にすること。現在は一部適用。
※2 インセンティブ…やる気を起こさせる・目的を達成するための刺激

〈商工観光課長〉ニーズが少ないことでそうなったと思うが、今回の販売実績を見て、今後判断されるものと思う。

◎回数券を発行する目的は。

〈商工観光課長〉多くの市民に利用して頂くことでの発行と思う。

◎利用促進と販売促進の両面があると思う。子育て支援に一生懸命取り組んでいるが、ハিজアでは子どもがおろそかになっているのでは。

〈市長〉今回の実績などを見て、できるだけ多くの子どもに利用頂けるよう考えていきたい。

◎ポイントカードを発行するので、子ども用回数券もぜひ発行していただきたい。

◎隣組回覧のチラシには回数券のみ。なぜ裏

面利用して宴会プランなどのPRをしなかったのか。機会損失ではないか。

〈市長〉費用対効果もあると思うが、効果的なPRには一生懸命取り組んでいく。

熊野大社と石畳参道を活かした菊まつりは？

◎現在の花公園での経済効果は。

〈市長〉多くの方が来られれば何らかの効果はあると思うが、現状では把握していない。



菊まつり



菊と市民のカーニバル



なんじょ鍋

◎クリアしなければならぬ多くの問題はあろうと思うが、次の二つの理由で「熊野大社と石畳の参道を活用しての菊まつり」を選択肢の一つとして考えている。①菊まつり単独での集客は難しい。従って、最も観光客が多い熊野大社との連携で相乗効果が期待できる。②観光客はお金を使う前提で来られる。石畳や商店街を歩いて頂く企画。昼食などの需要。

「なんじょ鍋」や「菊と市民のカーニバル」の関連イベントとの相乗効果が期待できる。と考えるがどう思うか。

〈市長〉個別イベントでは連携の芽も感じられる。連携できれば望ましいと思うが、効果的連携の在り方をどうすれば良いのか、今後市・実行委員会や地域の方の知恵を借りて、探っていく必要がある。

追加議案審査報告

人事院勧告等による給与条例の改正を可決

総務
常任委員会

◆南陽市特別職の職員
の給与に関する条例の
一部を改正する条例の
制定について

期末手当は年3.1月か
ら1.15月に。

非常勤特別職の報酬
の中で、行政不服審査
会委員は月額4600
円に規定。年額をもつ
て定める者は85万円か
ら120万円以内に引き上
げるもの。審査の結果
全員異議なく可決。

◆南陽市一般職の職員
の給与に関する条例の
一部を改正する条例の
制定について

給料表改正率は、平
均0.13%引き上げ、勤勉
手当年1.55月を1.65月に、
扶養手当に係る所要の
改正を行うもの。審査
の結果、全員異議なく
可決。

（委員長 川合 猛）

一般質問と答弁要旨



高橋 一郎 議員

● 市制50周年記念に50歳の参加を ● 福祉のまち南陽市をつくらう！

◎ 来年は本市が50歳を迎える。記念事業の中で昭和42年生まれの50歳になる市民等が参加するのは。

〈市長〉 市制50周年記念事業は各部署において企画している。ご提案の50歳をターゲットにした記念事業の予定はないが、「50歳」というキーワードは様々な場面で取り入れることができる。なお、50周年記念式典は、今後の50年を見据え、これからの社会を担うために、ただく絶好の機会と捉え、市内の中高生を始め、多くの若い世代に参加いただける場を提供できるように調整している。

◎ ボランティアで雪おろしや日常生活を支えていく福祉のまちづくりについて、どのように考えているか。

〈市長〉 高齢者等の日常生活を支えるというまちづくり・地域づくりは多くの課題がある。今後、いかにして市民の意識を高め、広めていけるかを検討し、高橋議員が取り組まれている活動も参考にしながら、支援体制の中心となる社会福祉協議会の人的な体制や支援環境の整備を図っていく。今年10月から介護予防・日常生活支援総合事業に取り組んでいる。現在、地域の支えあいの推進を担う生活支援コーディネーターを福祉課に1名配置し、ボランティア等によるサービスの検討、開発を進めている。

◎ ユメ(夢)教室を取り入れてみては。

〈教育長〉 夢を持つことは大事。新年度から取り組んでいく。



山山 利美 議員

● 地域活性化と物産販売拠点の整備は！ ● 「身の丈市政」で大丈夫か！

◎ 地域活性化には「滞在型の誘客」を図るのも必要と思うが、ビジネスホテル等の誘致などはどう考えるか。

〈市長〉 ビジネスホテルのシングルユースのニーズが高いことは承知している。赤湯温泉旅館組合とも意見交換をしながら、可能性について市としても真剣に考える。

◎ 市長公約の物産販売拠点の整備はどうか。必ずしも「南陽・高畠インター」付近でなくとも良いのではないか。

〈市長〉 場所やどういう施設が良いかについては、南陽市への誘客効果が図られるべきと思うので、これからも様々な意見を聞く。

◎ 近隣自治体のほとんどで「道の駅」「物産販売拠点施設」が運営や

計画されている中で本市は遅れている。また、そういう施設は自分達のコンセプトで情報発信やPRしていくべきと思うがどうか。

〈市長〉 南陽市には他にない誘うべき特産品が多く、東北中央道開通を見据えて活かしたい。しかし、運営後の実態は大変苦慮しているとも聞いているので、慎重に考えている。

◎ 市報に27年度一般会計は黒字決算と大きく載っていたが、それは事業量の縮小などもあり、市民への負担も大きく行政サービスの低下につながらないか。

〈市長〉 行政の財政出動による経済効果というのには必要だと思っっている。以前に比べて低下という認識は無い。市民サービスについては強化している。

※ ユメ(夢)教室…一流選手から夢をもつことのすばらしさをゲームとトークで学ぶ。



山口 裕昭 議員

● 高齢者、障がい者の方への市民サービスの向上 ● バリアフリー観光への取り組みについて

◎障がいをお持ちの方は、市役所を訪れる機会が多い。公共施設はそのニーズに耐える必要がある。

〈市長〉48の施設で調査を行った結果、スロープが必要な施設は42施設。設置している施設は22施設で、基準に達している施設は12施設。障がい者駐車帯は18の施設で設置、多目的トイレは24施設に設置しており、そのうちオストメイト対応は8施設。今後のあり方については「南陽市公共施設等総合管理計画」で検討する。

は20万人を大きく超える。本市観光の「マーケティングターゲット」にすべきと考える。

〈市長〉車いす利用者を誘客出来る事は、本市の観光を変える大きなチャンスと考える。現在行っている空のバリアフリーなどの環境整備と並行して、情報発信なども行っていく。

◎現在行っている各種事業でも、車いすでの利用、参加を促進できるように情報発信や、枠組みの変更・創設などを進めてほしい。

◎歩行困難でも常に活動し、情報発信している方がいる。モニターをお願ひしては。

〈市長〉出来る事から進めていきたい。

◎ここで乗り遅れると大きな損失になる。ぜひ前向きな対応をお願ひしたい。



島津善衛門 議員

● 6次産業化の取り組みは！ ● 空き家対策と利活用の推進は！

6次産業への取り組み

◎6次産業化法は、地域資源を有効に活用し、農林業等の振興や食料自給率の向上に寄与することとされているが現状は。

〈市長〉ワイン特区の認定を受け、ブドウ耕作放棄地再生や特産品関係事業を支援する。

◎今後の取り組みは。

〈市長〉地域タイプの利用を推進する。「6次産業化ネットワーク推進協議会」での計画の作成や、特徴ある商品の開発・販売の事業推進を検討する。

空き家問題の取り組み

◎特定空き家の増加が問題となっているが。

〈市長〉国の「空き家対策特別措置法」により、今年4月に「南陽市空家等対策計画」を策定したので、手順を踏まえ対応を図る。

◎特定空き家以外の空き家対策は。

〈市長〉所有者の希望があれば、宅建協会南陽支部の「空き家相談窓口」を紹介している。次年度より「空き家バンク事業」の実施を準備中。

◎その事業実施には、多くの様々な世代の住民と地域の将来を語る必要がある。

〈市長〉市場化を積極的に推進する。

昼夜間人口比率の改善

◎93.7%となっているが今後の改善は。

〈市長〉定住への取組を継続する。

◎地方公会計の進捗状況は。

〈市長〉「固定資産台帳」は昨年終了。「統一的な基準による財務書類等の作成」は現在進行中で、今年度末に完成予定。

※1 オストメイトトイレ…人工肛門・人工膀胱保有者のためのトイレ
※2 パーキングパーミット制度…身障者駐車帯の利用者に許可証を発行する制度



佐藤 明 議員

市民の声が届く予算編成を!!

◎市長に就任し3回目の予算編成になるが、基本姿勢と重要施策はどうか考えているか。

〈市長〉 地方交付税が44%減となり、社会保障費の増が見込まれることもあり、地方財政計画も厳しい内容となる。全ての事業で効果を検証し、市民生活に直結した事業等を優先して予算編成を行う。来年市制施行50周年を迎え、次の100周年に向け本市発展のための各種記念事業、防災対策、子育て支援、産業振興策など、市民生活に必要な事業を最重要施策に位置づけ予算編成をしていく。

◎「市長と未来トーク」が各地で開催され、参加者が409名と先日報告された。市民の皆さんから提案された要望、意見をどう反映するか。

〈市長〉 ご意見・要望は約50項目。各地区の課題など、現在、担当課で中身を精査し来年度予算に反映していく。◎財務省の諮問機関である財政制度審議会が2017年度予算編成に向け歳出削減を求め「建議」をまとめたがその認識は。

〈市長〉 国の社会保障政策がどのように改革されるか注視し、市長会など各種団体と連携していく。

◎4年近い安倍政権下の社会保障削減路線により一層深刻さが増した。医療や介護でこれ以上の負担増になれば、それこそ暮らしは行き詰まる。地方自治の責任者として地方自治の精神である地域住民の暮らし、福祉、安全、安心をどう守るのか。それを指摘しておく。



川合 猛 議員

少子化対策は、雇用と住居・新工業団地の造成と企業誘致!!

◎梨郷工業団地の現在の状況は。

〈市長〉 交渉中の市内の企業については、1区画を購入検討という最終的な意向が確認されたが、最終合意及び売買契約成立までには至っておらず引き続き交渉を重ねている。残りの1区画についても土地開発公社と連携し、企業と交渉を重ねている。交渉中の2社においても取締役会等で前向きに検討を進めているとの報告を受けている。

◎新工業団地の造成計画・企業誘致活動の現在と今後の目標は。

〈市長〉 現時点では新たな工業団地計画はない。現在、南陽西工業団地の西側において、工業の利便を増進するため「都市計画用途区域」を「工業地域」に

変更すべく関係機関と調整中である。

現在の企業誘致活動については、市内企業や首都圏企業を訪問し、梨郷工業団地への誘致活動に全力で取り組んでおり、今年度中には良い報告ができるものと考えている。また、企業の事業拡張等のニーズの把握に努め、支援に取り組んでいる。今後の目標としては市内の既存企業への支援にも力を入れ、新たな工業団地については十分に検討と議論を重ね方向性を決定したい。

◎まずは若い人の働く場所、結婚して住む場所を行政で提供する。将来につながる投資はあまり切り詰まず、市民に、若い人に夢を与えて下さい。そういう借金なら市民の皆さんも納得するのでは。

フラワー長井線鉄道用地負担付寄附の採納など7件原案可決



付託されたのは議案7件

◆負担付寄附の採納について

◆財産の無償貸付けについて

フラワー長井線の存続・維持のため、山形鉄道株式会社が保有する鉄道用地について、負担付寄附を受けるもの。「鉄道事業再構築事業」の実施にあたり同社が保有する鉄道用地607筆14万1629.45mを山形鉄道㈱から南陽市に負担付寄附の申し込みがあったため、これを受けるもの。また、山形鉄道㈱から負担付寄附を受けた財産について、同社に無償で貸し付けるもの。貸付期間は締結の日から33年3月31日までの5年間。

その事業目的は、安全な輸送サービスの確

保と経営体制の強化をはかるもの。

委員からは、この事業により市の負担金が今後5年間は増額になる代わりに、安全な輸送サービスと経営体制の強化が図れるのなら納得はできる。しかし、さらに負担金の増額や、目標としている33年までに経営改善計画で示したとおり当期純利益の黒字化がはかれなければ、存続をあきらめるべきとの意見が出された。

事業認可を受けた国の補助を受けられる5年間は理解できるが、それ以降については慎重に検討し判断するべきとした。



フラワー長井線南陽市役所駅

◆南陽市議会議員及び南陽市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定

公職選挙法施行令の一部改正により、国会議員の選挙公営に要する費用に係る限度額が引き上げられたことに伴う所要の改正。

選挙運動用自動車の借り入れ日額を1万5300円から1万5800円に、燃料費日額を7350円から7560円に、市長の選挙運動用ビラの作成単価を1枚7円30銭から7円51銭に、選挙運動用ポスターの印刷単価を1枚340円32銭から525円6銭に、その企画費を20万1250円から31万5000円に改正するもの。

委員から選挙運動用ポスターの企画費が大

幅に増額された理由について質問があり、当局から10年の公職選挙法改正による単価見直しの際に、国の2/3の限度額で設定していたものを、この度、国の単価に合わせたために増額になった。

◆南陽市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定

介護休暇を連続する6ヶ月以内で取得していたものを、通算して6ヶ月以内で3回まで分割取得可能とする。また、介護時間を連続する3年以内に1日2時間以内で取得可能とするもの。

◆南陽市税条例の一部を改正する条例の制定

所得税法等の一部改正に伴う個人市民税の課税の特例についての

所要の改正。

台湾企業等から特例適用利子又は配当等有する者に対し、当該特例適用利子又は配当額等の額に係る所得を分離課税する規定を追加するもの。

◆南陽市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

所得税法等の一部改正に伴う国民健康保険税の特例の改正。国民健康保険に加入する者が受け取った台湾の企業等からの利子及び配当等の所得を国民健康保険税算定等に含める規定を追加するもの。

◆南陽市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正する条例の制定

地域再生法の一部改正で引用条項のずれを修正するもの。

(委員長 川合 猛)

置賜病院組合規約 一部変更など4議案可決



付託されたのは議案4件

◆置賜広域病院組合規約の一部変更

29年4月から病院事業に地方公営企業法の全部を適用するため、「病院組合」から「病院企業団」に変更するため、規約の一部を変更するもの。

◆南陽市健康長寿センター・デイサービスセンターの指定管理者の指定

社会福祉法人南陽市社会福祉協議会を指定するもの。全員異議なく可決した。

◆南陽市老人いこいの家の指定管理者の指定について

社会福祉法人南陽市社会福祉協議会を指定

するもの。

委員より、建物の耐震強度や検査について質問があったが、全員異議なく可決した。

◆南陽市立漆山学童保育施設の指定管理者の指定について

指定管理者として引き続き社会福祉法人双葉会を指定するもの。

委員より、指定管理料などの質問があり、保育料と国庫補助金で運営されるため、指定管理料としての支出はないとの説明があり、全員異議なく可決した。以上3件の指定期間は29年4月1日から33年3月31日まで。



漆山学童保育施設

管内視察レポート

10月17日

◆吉野公民館

吉野公民館は林野庁の補助事業で施工された木造施設であり、市内の材料84%使用し、23年12月に吉野中学校跡地に完成した。施設の特徴は全面バリアフリー化になっている。利用状況は27年度5178人。吉野地区の人口は26年704人から639人と減少しているが「元気で住みよい、魅力のあるふるさと」地域全



吉野公民館

体いきいき老若男女！」の目標を掲げ公民館の運営をしている。

◆養護老人保健施設ドミール南陽

養護老人保健施設ドミール南陽では、看取りの必要な利用者を受け入れている。32床のショートケアを行っており、同時にデイケアを30人枠でやっている。また、施設の一階は普通入所病棟で二階は認知症の方が入所している。内部は非常に清潔で明るい感じがする施設だった。



ドミール南陽

◆沖郷小学校放課後子供教室

沖郷小学校放課後子供教室は28年7月4日に開設した。全児童432人中、228人が登録し54%の申込率である。入室・退室時にはメールで保護者に連絡が届くシステムになっており、毎日100人近い児童が利用している。教室と学童保育は連携して運営している。児童がいきいきと教室を入り出す姿が印象的だった。(委員長 白鳥 雅巳)



放課後子供教室のメールシステム

採 択 「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願
不採択 TPP協定を国会で批准しないことを求める請願

付託されたのは議案5件、請願2件

◆「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願 **採択**

本請願は、農業者戸別所得補償制度を復活させるように国に対して意見書の提出を求めるもの。委員からは国民の食糧と地域経済、環境と国土を守るためには本制度は必要との賛成意見が出された。採決の結果、全会一致により採択と決した。

◆TPP協定を国会で批准しないことを求める請願 **不採択**

本請願は、TPP協定の批准は行わないよう、政府に意見書の提出を求めるもの。6月及び9月の本委員会では、さらなる調査が必要と継続審査となっていた。12月9日国会承認にはなったものの、



死亡獣畜保冷センター(川西町玉庭)

省令を改正したうえで閣議決定を経て国内手続が完了することから審査は妥当と判断した。委員からは、農林水産分野の重要5品目の聖域の確保ができないと判断した場合は脱退を辞さないとする国会決議に違反するなど賛成意見と自由貿易の中で農産物の輸出もしていくことが活路とする反対意見があった。採決の結果、賛成少数により不採択と決した。

◆議案審査5件

5件とも審査の結果、全員異議なく原案のとおり可決した。

◆置賜広域行政事務組合規約の一部変更

◆南陽スカイパークの指定管理者の指定

南陽市スカイレジャー振興協議会

当組合で運営している「死亡獣畜保冷施設」を29年3月末日で廃止する。

◆南陽市勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定

株エービーエム

指定管理者の指定期間は29年4月1日から32年3月31日まで

以下3件も同じ期間。

◆赤湯温泉観光センターの指定管理者の指定

赤湯温泉旅館協同組合

◆ハイジアパーク南陽の指定管理者の指定

株ハイジアパーク南陽

委員からは、利用客の減少を食い止めるための営業努力をもっと行うべきとの意見が出された。



水窪ダム小水力発電施設

管内視察レポート

10月24日

米沢市三沢、高島町竹森地内

◆米沢平野土地改良区水窪ダム及び竹森小水力発電所

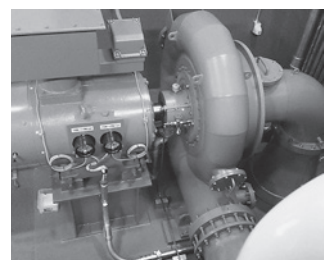
小水力発電は燃料なしでできる地産地消の優れたもので注目の発電。事業主体は東北農政局で発電事業者が米沢平野土地改良区。建設費は水窪施設約6.3億円、竹森施設約3.5億円。自己負担は1割。発電は日夜年中可能で、売電収入は土地改良施設の維持管理にも充当できるため、運営の安定化に大きく寄与できる。



ピックファーム室岡豚舎

豚舎の臭いを抑えるための脱臭施設は、デンマーク製で1棟2千頭、肥育豚舎を2棟、集糞施設1棟、排泄物処理施設を含む事業費は約4.6億円。取組主体は(有)ビックファーム室岡で29年1月末に完成予定。(委員長 高橋 一郎)

◆山形県畜産競争力強化対策整備事業(宮崎地区)



竹森小水力発電施設

議会運営委員会 行政視察報告

11月16日～18日

兵庫県篠山市と岡山県備前市にて議会における、ICT（情報通信技術）化とタブレット導入及びペーパーレス化の推進の取り組みについて研修した。

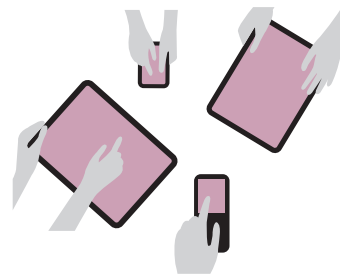
篠山市議会では、24年4月1日に議会基本条例を施行。25年6月27日、市民に開かれた信頼される議会を目指し、ICTを議会活用するため「篠山市議会における情報通信技術の活用を推進するための決議」を行う。25年12月システム導入費用を予算化。導入にあたり先進地視察やICT研修会を実施した。26年3月よりタブレット端末を貸与し運営を開始した。

導入の目的は①効果的、効率的な議会運営（情報共有のスピード化）②議会活動の充実（膨大な資料の携行、保管）③ペーパーレス化による環境負荷の低減④議会費の削減。

議員の使用範囲については①情報伝達における使用（議員と事務局間での情報の送受信、議案及びその他必要な資料、予算、決算書）②情報収集における使用（本会議、委員会等会議録の閲覧、各自自治体の先進事例の閲覧）③会議における使用範囲（議会、議員活動とし、原則としてすべての会議に使用可能としている）

システム導入効果として、情報共有のスピード化により効果的、効率的な議会運営がはかられる。膨大な資料

の携行や保管が可能で議会活動の充実が図られる。しかし、課題としてペーパーレス化については、紙による資料と併用している段階もあることから効果は一部となっている。



備前市においては、26年度から「ICT街づくり事業」を実施している。市では事業で行われる防災情報の送受信などを主たる目的に利用。この事業で市内各種団体等に300台の端末が区の会長、自主防災組織、消防団、民生委員などに配布された。議会運営・議員活



タブレット操作説明

動でも利用し相乗効果が期待できるとして、議会でも利用していくとした。議員の利用状況としては、タブレットを使用することの苦手な方もいることから、紙による資料と併用での議会運営となつていく。本市においても今後、ペーパーレス化についての経費の削減やタブレットの導入による効果は期待できることから検討する時が来るのではと感じた。（副委員長 白鳥 雅巳）

置賜二市二町議会議員 親善交流研修会

10月14日

川西町「浴浴センターまどか」を会場に研修が行われた。

「川西町地域おこし協力隊の活動について」まちづくり課長鈴木浩之氏より説明をいただいた。28年9月現在、地域おこし協力隊は県内で93名、そのうち川西町が11名と最多で東北でも一番となっている。

川西町では隊員が任期終了後にスムーズに定住、起業できるよう「派遣活動」と「自主活動」の年次段階方式の制度を独自に取り入れている。

「派遣活動」は地区特産品開発や夏祭りイベント企画・ゆるキャラ・成人式や婚活イベント

企画など地区行事や町の事業が中心になっている。

「自主活動」は隊員の得意分野での独自企画や起業に結びつくような研修、陶芸カフェ、ギャラリーの整備、ハーブ栽培、茅葺や板金技術習得など多岐にわたっている。研修費や免許取得に活用できるスキルアップ助成制度もある。（上限一人15万円）

最後に夫婦で神奈川からIターンしている長岡義和・未実隊員から協力隊の活動や生活などをお話いただいた。（編集委員 板垣致江子）



地域おこし協力隊説明

議会報編集委員会

視察報告

10月19日

岩手県矢巾町やはばは盛岡

市のベットタウンで、移住者人口が50%を超え「人口が増えるまち」として、自主財源も50%以上を確保している。

町村議会広報全国コンクールでは、企画・構成部門で優秀賞などに輝いている実績がある。議会報発行も、常任委員会に格上げして、議員手作りで全国一を目指している。

編集方針は

①住民の関心が高い情報を。

②わかりやすく、詳しく。

③公平・中立・客観的に。

紙面づくりの工夫では、

①小学5年生でもわかる言葉づかいで、親し

みやすく、わかり易いものに。

②町政や議会に関することでないテーマでの声や、傍聴者などから議会に対する声なども、町民の声のスペースを確保している点など。当委員会としても、わかりやすく、見やすい、市政と市民の架け橋となれる議会報を目指して参ります。

(委員長 山口 正雄)



矢巾町議員の説明

県市議会議長会 議会報研修会

10月9日

県内13市合同の議会報研修会が村山市を会場に、山形新聞社の齋藤編集局整理部長を講師に迎え「手にとつて、読んでもらえる議会報づくり」の演題で開催された。

専門家を招いて、見出しのつけ方やレイアウトなど、どうすれば見やすい議会だよりになるのかを編集議員自ら勉強するもので、年に一回各市持ち回りで開催している。このような研修等を受けながら紙面を改善して参りますので、ご意見をお寄せください。(編集委員 島津善衛門)



広域議会公報

置賜広域行政 事務組合

11月14日

米沢市議会棟で、定例会が開催された。提案された議案は、報告1件、議案7件、いずれも原案のとおり承認可決された。

◎専決処分の報告

消防関係の車両が物損事故を起こしたため

◎27年度一般会計歳入

歳出決算

◎27年度ふるさと市町村圏特別会計歳入歳出決算

◎27年度広域消防特別

会計歳入歳出決算

◎組合有財産(不燃ごみ運搬自動車取得)

◎組合有財産(焼却灰運搬自動車取得)

視察レポート

10月5日～6日

置広議員の、管外行政視察を行った。

初日は岩手県北上市の「岩手中部クリーンセンター」を視察。27年10月に完成したごみ焼却施設。雪を利用した夏季空調・保冷設備、太陽光発電設備、焼却灰を水洗浄し塩素分を低減し、その灰をセメントの原料とする最新の「ストローカ炉」。

崎市の「大崎広域大日向クリーンパーク」を訪ねた。26年3月竣工の焼却残渣及びし尿残渣の最終処分場で、埋め立て地に最も重要な二重シートと保護マットに加え、ベントナイトや自己修復材等による多重層の構造となっている。

特にベントナイトは水分を含むと大きく膨張する性質を持つので、碎石間の空間を埋めて止水する等、底面部8層の遮水構造とし、安心・安全を確保している。41年まで埋め立てできる施設であった。(置広議員 川合 猛)



ごみ処理仕組みの模型

置賜広域病院組合

10月定例会は、10月28日南陽市議会議場で開催され、27年度置賜広域病院組合病院事業会計決算、28年度補正予算、監査委員の選任等が審議され、いずれも認定・可決・同意された。

◆27年度事業会計決算

入院患者数は、サテライト施設で減少したため、前年比2245人の減少、外来患者数は576人の増加をみた。一方、医業収益は増加したものの、材料費・給与費のアップ等から医業費用収支比率は、86.7%となった。

◆28年度補正予算

27年度決算に伴う精算のための構成団体負担金返還金のほか、今年度末までの患者の動向、収支見通しや予算

の執行状況等を踏まえ、補正するもの。

視察レポート

置賜広域病院組合では現在、経営形態の見直しを行い、地方公営企業法の全部適用への移行について進めている。そのため、置賜広域病院と同程度の機能を持ち、経営が優良である病院を選び、11月7日、8日に視察した。

◆富山市民病院

23年より病院の経営形態を地方公営企業法の全部適用に移行し、それ以降、経営収支の黒字化を維持している。それまで莫大な累積赤字を抱えていたが、入院日数の短縮、手術部門の改善、一般職員を減らし病院職員を増やした。何と云っても病院事業者に全ての責任を与え、人事、配置、

経営改善委員会の主として、自らの判断で行える事こそ全部適用の理念であった。

◆さいたま市立病院

地方公営企業法の一部適用で、あり方検討委員会の設立、共同購入の推進、かかりつけ医との共同病床、周産期母子医療センター、がん化学療法室の完備等、経営改善を進めた。26年には自治体立優良病院として大臣表彰を受賞した経営状況の良い病院であった。

(置病議員 殿岡和郎)



富山市民病院

請願に対する議員の賛否表 (賛否が分かれたもの)

請 願	議席番号 氏 名																
	1 山口 裕昭	2 島津善衛門	3 高橋 一郎	4 船山 利美	5 山口 正雄	6 白鳥 雅巳	7 片平 志朗	8 梅川 信治	9 川合 猛	10 高橋 弘	11 板垣致江子	12 高橋 篤	議長 田中 貞一 裁	14 遠藤 榮吉	15 佐藤 明	16 伊藤 俊美	17 殿岡 和郎
TPP協定の国会批准をしないことを求める請願	×	×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	○	×

○=賛成 ×=反対 8対8の同数により、議長裁決の結果 採択

表紙の写真

十分一山の朝日と大好きな白竜湖をやさしく包む雲海。

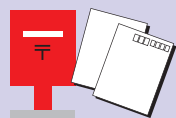
その雲海が晴れた時昔日のあの日、満々の水を湛え、若いカップルを乗せたボートが数隻浮かんでいる。そんな白竜湖に戻ってしまいました。私の見た小さな小さな初夢!!

(編集委員 川合 猛)

ご理解ください

南陽市議会議員一同は、政治倫理の確立を期するため、年賀状などの時候の挨拶状(答礼のため自筆によるものを除く)、諸行事、会合での一切の寄付などは行っていないと市民のみなさんご理解とご

協力をお願いいたします。



公職選挙法の規定を守り、虚礼廃止を申し合わせています。

編集後記

あけましておめでとうございます。この定例会は、

「議会だより」は、編集委員会を中心に、各議員が工夫を凝らし、表紙写真も委員が撮影するなど、悪戦苦闘しながら編集作業を行っています。

身近な議会報告を心がけて活動をし、皆様にお伝えしていきますので、本年も「議会だより」をよろしくお願いたします。(島津)

委員長 山口 正雄
副委員長 川合 猛
委員 山口 裕昭
島津善衛門
高橋 一郎
板垣致江子

